

垂水市記者発表（令和4年4月17日）

垂水市初開催！

【垂水市自殺対策事業】
県内の子育て世代等を対象とした
子どものSOS受け止め方講演会を開催します

自殺対策事業の一環として、本講演会を広く、県民・市民へ周知し、事業の輪を広げていきたいと考えておりますので、貴報道機関での取材をお願いいたします。

取材の際は、お手数いりますが、保健課健康増進・元気プロジェクト係（32-1116）までご連絡ください。

■資料 本紙を含む2枚

1 概要

本市いのち支える自殺対策計画に基づく自殺対策事業の一環として、子どものSOSの受け皿となる保護者や子育て支援に関心のある方等を対象に、「子どものSOS受け止め方講演会」を実施いたします。

2 実施スケジュール

令和4年4月24日（日） 受付9：30～10：00、講演10：00～11：00

3 講演テーマ

子どものSOSの受け止め方
～親子で育む自尊感情～



LINE QRコード



市HP QRコード

4 講師

高橋 聡美 氏

- ・宮城県仙台市在住、鹿屋市出身、南さつま市（加世田市）育ち
- ・中央大学人文学科研究所客員研究員
- ・BPO（放送倫理・番組向上機構）委員
- ・一般社団法人高橋聡美研究室 代表
- ・自衛隊中央病院高等看護学院卒、精神科・心療内科の看護師として8年勤務
- ・東北大学大学院医科学系研究科 博士（医学）
- ・2003～2005年 スウェーデン在住 医療福祉・教育政策の調査
- ・2007年 仙台青葉学院短期大学 看護学科 講師
- ・2012年 つくば国際大学 精神看護学 教授

- ・2014年 防衛医科大学校 精神看護学 教授 等
- ・2021年 垂水市でSOS出し方教育授業・研修会を実施

5 事業背景

日本における10代・20代の死因の第1位から第2位は「自殺」であり、また先進8か国と比較しても高い水準を占めています。このことから、若い世代の自殺は深刻な状況にあります。

本市においては、平成25年から令和2年の自殺者数を年齢階級別に見ると、20歳未満の自殺者はいないものの、20歳以降に自殺者が増える傾向にあります。

これらを踏まえ、本市では、令和3年度から、感情表現が成長過程である児童や生徒、その受け手となる教育従事者等に対して、「SOSの出し方教育授業」と「SOSの受け止め方研修会」を開始いたしました。

令和4年度は、これらの「授業・研修会」を引き続き開催すると共に、地域での子育て支援を更に進め、地域で見守る「SOSの受け止め」の輪を広げて行くために、本市初の取組として、保護者や子育て支援に関心のある方等を対象とした講演会を企画いたしました。

6 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を徹底するため、厚生労働省の通知等を踏まえ、適切な感染症対策を行い、次のような事業環境を確保します。

(1) 開催の判断

本市及び県内、講師所在地の新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、保健課及び講師と協議した上で、開催が困難な場合は、事業実施の中止又は延期を判断する。

(2) 基本姿勢

- ア 参加者・スタッフは、不織布マスクの着用します。
- イ 受付にて、体調確認・検温を行います。
- ウ 会場の座席は、ひと席空けて配置します。
- エ 会場内の換気は、ドア開放及び会場の換気機能を常時稼働させます。
- オ 講師は、陰性証明書を本市へ提出します。

■所管課 垂水市保健課（健康増進・元気プロジェクト係）

■問い合わせ先 垂水市保健課健康増進・元気プロジェクト係

電話 0994-32-1116（直通） 担当：庭田、山口